



ムサビクロニクルとは

美術・デザイン史検証委員会は、武蔵野美術大学創立100周年記念事業の一環として、日本の美術史・デザイン史において本学の教育・研究が果たしてきた役割を位置づけるとともに、近現代日本の美術・デザイン史を領域横断的に読み解く書籍の刊行を目指しています。「ムサビクロニクル」は、外部有識者を招聘し、美術史・デザイン史の観点から多様なテーマを扱うトークイベントおよび講演会を実施する特別講座です。

シュルレアリスムと 学生たち

—1930年代、
前衛グループの光芒

パネル

弘中智子氏（板橋区立美術館副館長）

沢山遼（武蔵野美術大学 美学美術史研究室）

モデレーター

前田恭二（武蔵野美術大学 美学美術史研究室）

専門は日本のシュルレアリスムなど。一橋大学博士。
2006年より板橋区立美術館に勤務し、2021年の
「さまよえる絵筆」展で倫雅美術奨励賞。同展と
2024年の『シュルレアリスムと日本』展は、図録を
兼ねた書籍（共編）が出版されている。

2026年11月9日（月） 17時00分～90分程度

会場：武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス1号館103教室

対象：本学教職員、学生、校友、学外一般

料金：参加無料・当日会場へお越しください。

作品画像：渡辺武「祈り」1938年 板橋区立美術館蔵
主催：武蔵野美術大学 美術・デザイン史検証委員会
（事務局）武蔵野美術大学 教学企画チーム
〒187-8505 東京都小平市小川町1-736
kyogaku@musabi.ac.jp



Musashino
Art
University
1929-2029
100th
美はつづく。